

<b>3</b>	<b>産業革命と欧米諸国</b>	名前	得点
----------	------------------	----	----

- (1) 18世紀の後半、アメリカとアフリカとの三角貿易の利益と科学技術をもとに、産業のしくみを変え、世界経済の中心となった国はどこか。
- (2) 19世紀のイギリスでは、さまざまな産業に機械が導入され、産業と社会のしくみが大きく変わった。この変化のことを何というか。
- (3) (2)によって、資本を持つもの(資本家)が経営者として、賃金をもらって働くもの(労働者)をやとうしくみが生まれた。これを何というか。
- (4) (3)のしくみによって、豊かになり生活も便利になったが、貧富の差や労働災害などの社会問題も生まれた。その結果、社会のしくみは労働者を中心としたものに変えなければならないといった、(3)のしくみを批判する考えも生まれた。この考えを何というか。
- (5) 19世紀のイギリスでは二大政党政治が行われた。二大政党の組み合わせを記号で選べ。  
 (ア) 自民党と民主党 (イ) 共和党と民主党 (ウ) 保守党と労働党 (エ) 自民党と社会党
- (6) 19世紀のドイツでは、「鉄血宰相」と呼ばれた人物が、議会を無視して富国強兵政策によって近代化を進めた。この人物はだれか。

- (7) 1861年、アメリカでは自由貿易や奴隷制をめぐる対立から国が二つに分裂し、南北戦争が起きた。  
 右の表のAは北部と南部のどちらか。

	A	B
経済	大農場	工業が発展
中心勢力	大農場主	資本家
貿易	自由貿易	保護貿易
奴隷制	賛成	反対

- (8) 南北戦争は、北部を勝利に導き、合衆国の統一と奴隷解放を宣言した大統領はだれか。

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)